



木のあるくらし作文コンクール

環境大臣賞受賞

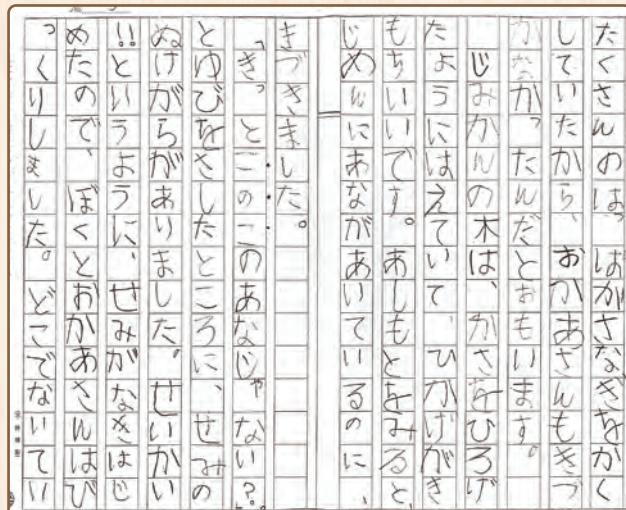
となりのスーパー・ハウス

12月15日、小牛尾蒼生さん（城川内小1年）が、大野教育長のもとを訪れ、「第28回木のあるくらし作文コンクール【低学年の部】」で環境大臣賞を受賞したことを報告しました。

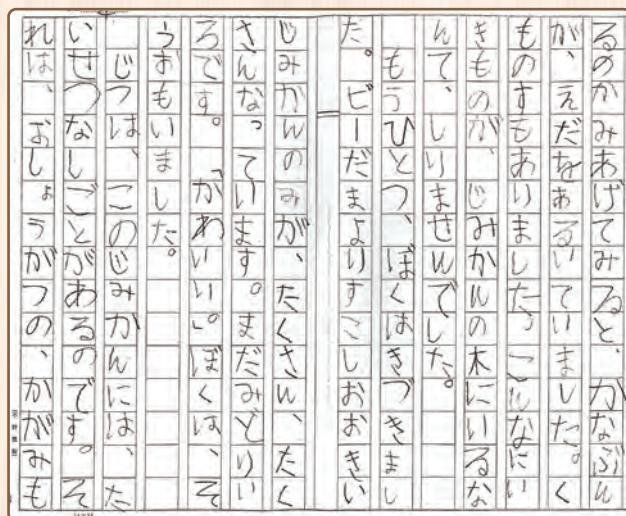
作文のタイトルは「スーパー・ハウス」で、自宅横に植えてあるジミカンの木をスーパー・ハウスと捉えて、木に集まる昆虫や木の役割と良いところ、持ち

味、などについて自然との調和を交えながらつづらっています。

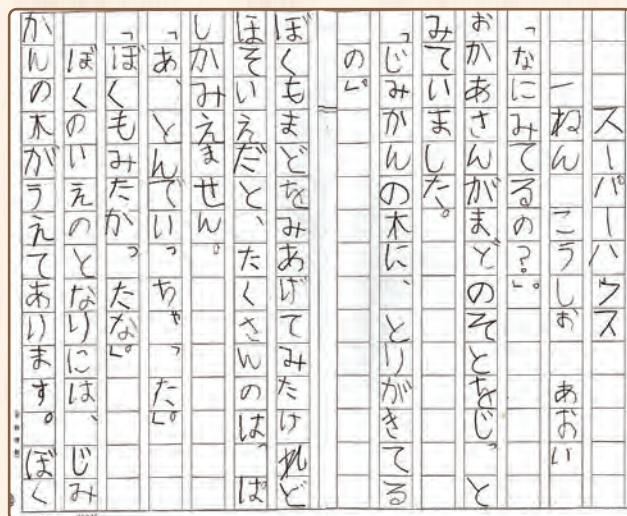
10月25日に、すまい・るホール（東京都）で行われた表彰式で大勢の参加者が見守る中、自身の作文を朗読した蒼生さんは「発表はドキドキしたが上手に読めた。大好きなジミカンの木のことを見た文で受賞できてうれしい」と笑顔で話しました。



3



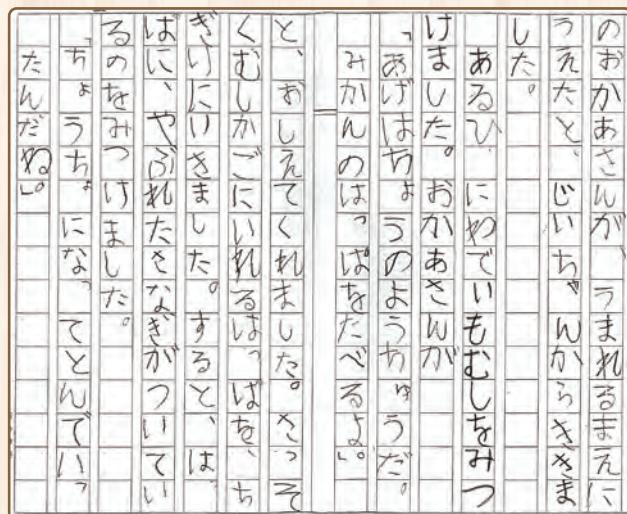
4



1



5



2